

議案第71号

令和5年度介護保険事業特別会計
補正予算(第1号)

日本共産党

問 第8期計画期間の3年間における介護保険保険給付費等準備基金の年度末残高について伺う。

答 令和3年度が33億7197万4537円、令和4年度が31億7527万9939円、令和5年度が28億8663万9939円である。

問 入所者の補足給付の負担増による影響額を伺う。

答 補足給付を經理する特定入所者介護サービス等費の令和4年度支出済額は4億3865万4819円であり、令和2年度から1億6456万3160円減少した。

問 訪問介護サービスが必要な人に行き渡っていないのではないか。

答 昨年度実施した居宅介護支援事業所への調査や医療・介護の現場の声を聴く会議において、訪問介護サービスやヘルパーが不足しているとの意見をもらっている。

討論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

議案第49号

反対 | 日本共産党

低所得者への給付金事業の執行率37%など、多くの予算を余らせたことで、決算は約89億円が不用額となった。マイナンバーカードと保険証の一体化はやめ、現行の保険証を存続させるべき。保育ステーションの送迎保育、子育て短期支援事業など利用人数が少なく、周知が不十分。生活保護を受けさせないような対応は問題。シャトルバスが減便になった。教職員の未配置・未補充への対応や子どもの不登校への対応を強化すべきである。

賛成 | 初雁自由政令会

決算額は、令和3年度に引き続き大きな決算規模となった。歳入の特徴として、市税収入が約19億円の増となり、ふるさと納税も約4億5千万円となった。歳出規模も、昨年度同様に大きな決算規模となり、各種給付金、支援金、新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策、プレミアム付電子商品券発行に加え、本丸御殿周辺の広場整備などの市制施行100周年記念事業が効果的に実施された。川合市長のリーダーシップと職員の尽力による確かな対応と成果を高く評価するとともに、第四次川越

市総合計画に掲げた本市の将来都市像の実現に向け、健全で持続可能な行財政運営を目指すことを要望し、賛成の討論とする。

賛成 | 無所属

川越市は、市制施行100周年を迎えた。少子高齢化や公共施設の維持・更新等の課題はあるが、これからも福祉や教育の充実、地域経済の活性化、都市基盤の整備、環境対策など、市民のために平和で暮らしやすいまちづくりにつながる決算であり、市民と協力し川越市全体で取り組んでいくと確信したので、以上賛成討論とする。

決議第1号

賛成 | 日本共産党

市長の言動は公私を問わず関心を持たれる。信条が違っても真摯に対応すべき。職員ハラスメント防止指針では人権に関わる重要な問題としている。市長を含め同様の立場で対応すべきことは当然。裁判で市長は相手をうそつき呼ばわりしたが許されるものではない。議会は政治倫理条例で疑いを持たれた場合の対応を定め、市民の代表として誠実に職務を行うと宣誓している。市長をチェックする役割を果たすことは我々の当然の責務。

本会議の様子は以下の方法でもご覧いただけます

■ インターネット中継 ライブ/録画

川越市議会ホームページ



インターネット中継は
こちらから ▶



■ 会議録 今定例会分は11月下旬ごろから

川越市議会ホームページ

川越市立図書館など



会議録の閲覧はこちらから ▶

